

情報公開文書

2021年1月28日 第2版

研究の名称	術後再建腸管胆管結石に対する内視鏡治療の有用性
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学附属病院
研究責任者	富山大学附属病院 第三内科 教授 安田一郎
研究の概要	<p>【研究対象者】 2018年4月から2020年9月に術後再建腸管胆管結石と診断され、当科で内視鏡治療を行った症例を対象とします。</p> <p>【研究の目的・意義】 術後の癒着などで乳頭や吻合部への到達が困難であったり、到達できても胆管挿管が困難であったり、挿管後も処置が困難な症例も経験されます。そこで今回、当科における術後再建腸管に対する経口的内視鏡治療の成績について後方視的に検討します。</p> <p>【研究の方法】 2018年4月から2020年9月に術後再建腸管後胆管結石と診断され、当科で内視鏡治療を行った症例とします。電子カルテ、内視鏡所見システムを使用し匿名化された状態で情報を収集し、収集したデータは統計学的に解析されます。</p> <p>【研究期間】 承認日から2022年4月1日までとします。</p> <p>【研究結果の公表の方法】 この研究の解析結果は、専門学会への発表、論文化を通じ公表されます。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	本研究の実施については、自施設の倫理審査委員会の承認が得られ、研究機関の長の許可が得られた後に、研究責任者および研究分担者が診療録調査を行います。調査対象者を識別番号で区別し、匿名化によって調査対象者の機密保護について厳重に配慮します。匿名化された診療情報を第三者に提供することはありません。診療録調査の結果は研究事務局において保管されます。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 第三内科 教授 安田一郎において診療情報が解析されます。施設責任者は安田一郎です。
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院 第三内科 教授 安田一郎
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（情報の利用）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7301 FAX 076-434-5027 E-mail T.Hanaoka.com@outlook.jp</p>

担当者所属・氏名 富山大学附属病院第三内科 花岡辰行
